

(報道関係各位)

1ヶ月先の消費を占う「消費意欲指数」は、  
毎月25日前後に発表いたします。

2001.08.22

博報堂 広報室 寺島・木下

7月に調査した8月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。

2001年8月の消費意欲は、53.4点でした。

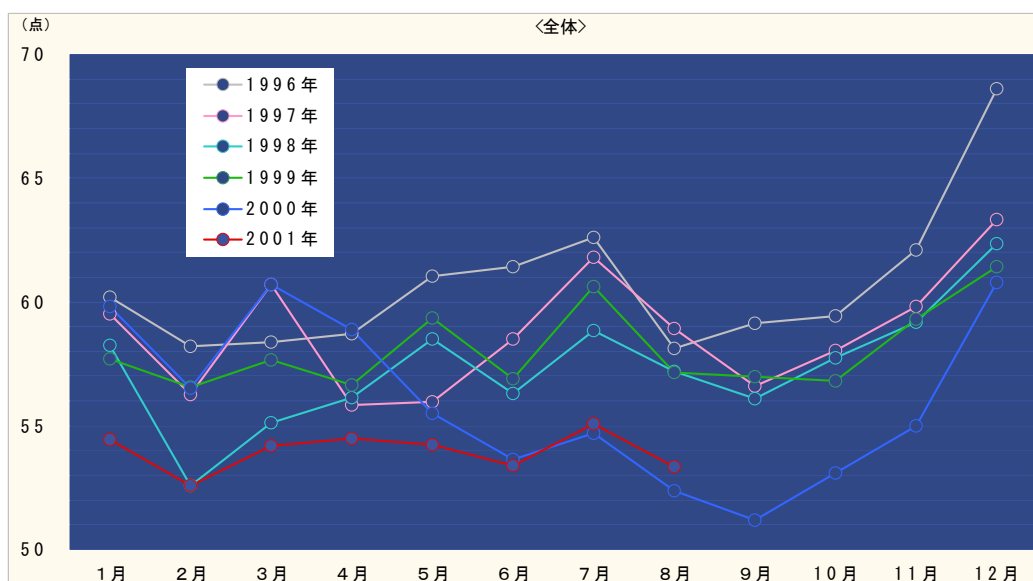
■「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

7月の時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者440名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とするとあなたの8月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が「8月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■先月に引き続きかろうじて前年同月を越え、53.4点になりました。

(消費意欲指数)



先月、約1年ぶりに前年同月を越えた「消費意欲指数」、今回は、例年の季節変動どおりに低下したとはいえ、昨年同月の水準（52.4点）よりはかろうじて高いレベルを保っており、生活レベルの消費景気は、「低め安定」で推移しているといえるでしょう。

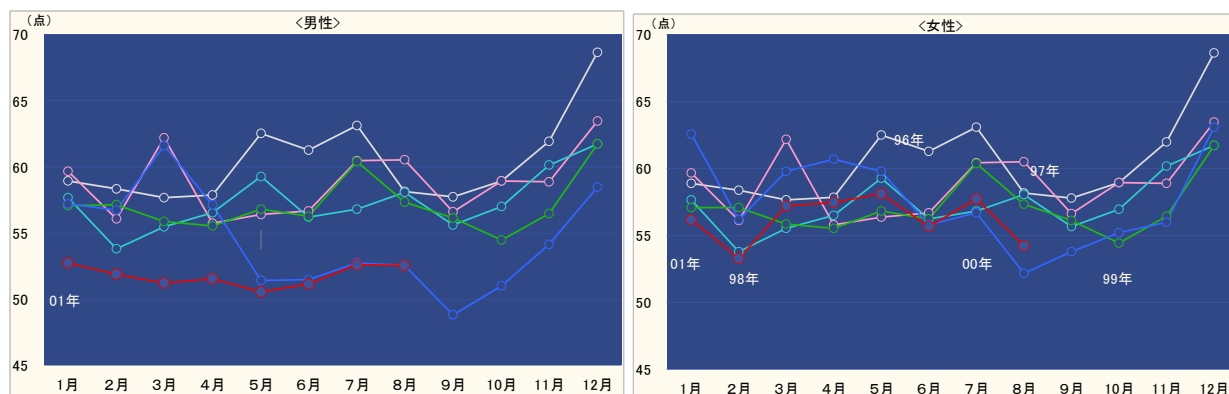
### ■景気の牽引車的役割を果たしてきた「女性の消費意欲」が大幅低下。

今月の結果で興味深いのは女性の低下です。  
女性は先月57.7点もあったのですが、今回は54.2点と大幅低下です。ボーナス時期が終わり、レジャーシーズンも後半に突入したせいで、例年どおり低下傾向に転じました。それに対して男性は先月（52.6点）とほぼ変化なしの52.5点。

その結果、ここ最近ずっと大きかった男女差が急に縮まる結果になりました。

※7月の男女差=女性57.7点-男性52.6点=5.1点 ⇨ 8月の男女差=女性54.2点-男性52.5点=1.7点

世の中の動きや自らのお財布の中身に敏感に反応する女性に比べ、じっくり状況をうかがっているかのような動きをみせる男性。例年秋にかけて消費意欲の減退がみられています。9月の動向に注目が集まります。



※博報堂生活総合研究所のHP ([www.athill.com](http://www.athill.com)) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

#### 【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域: 首都圏 / 調査対象者: 18~76の男女個人 440人 / 調査方法: 郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは  
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。